

令和3年度

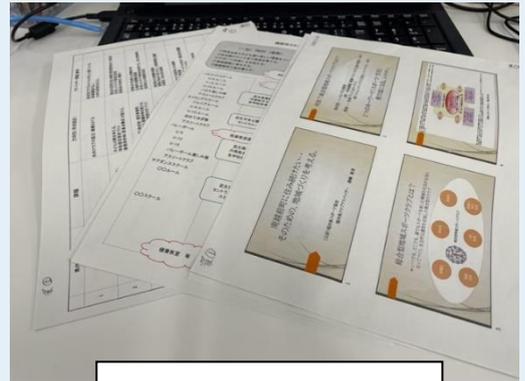
総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（1月～3月）

1月

＜クラブを視察しました＞

新年のあいさつと併せて各クラブの状況の聞き取りを行ってきました。毎回、新たな提案が出来るよう、県内のクラブの情報や市町や他県の動きなど情報を伝えます。

県内でコロナ感染状況が悪化した際には、テレワークを行いました。訪問が十分にできない分、資料作りに時間をかけることができました。各クラブの分析を行い、アドバイザーとして何が求められているのか見直すいい機会になりました。具体的な改善案を提供していきたいと思えます。



資料作りに力を入れています！

＜創設支援研修会を行いました！＞

南越前町で、行政の方やスポーツ推進委員の方を対象に研修会を行いました。町のスポーツ施設の状況や子どもたちのスポーツ状況の課題など、地域の情報を共有できました。総合型クラブが地域づくりの役割を持つことを知ってもらい、アピールを続けていきたいです。



2月

＜テレワークで構想を練る＞

今月は大雪とコロナ感染拡大の影響で、ほとんどがテレワークでの活動になりました。クラブ訪問はなかなかできない状況ですが、資料作りを行い、1年の振り返りと来年度の構想を練っています。

来年度から登録・認証制度がスタートし、事務局が福井県スポーツ協会に移ることになります。総合型クラブへのサポート事業も心機一転でスタートする予定です。

県スポーツ協会とは常に市町の様子やクラブの様子を情報共有していますが、今後さらに、他団体との連携がもっと必要になってくると感じています。行政のみでなく、学校や企業、クラブ間の交流など、柔軟で強いクラブ運営が求められそうです。

3月

<イベントを視察しました>

老若男女健障、誰でも楽しめるスポーツ「ゆるスポーツ」のイベントが開催されたので視察してきました。総合型クラブ関係者やスポーツ推進委員の方など、近隣の町からも参加者が集まり活気のあるイベントでした。コロナ禍だからこそ自粛して止まっているのではなく、前向きに活動しよう！というパワーを今後の活動に繋げてほしいです。今回のイベントは、赤い羽根募金助成金を活用し開催されました。クラブ運営を充実したものにするには、多方面からの情報収集を行い、チャレンジを続けることが必要だと改めて感じました。



ご当地「ゆるスポーツ」で「まちづくり」

<今年度のまとめ>

今年度もコロナ禍での活動でしたが、クラブのみなさん、環境に合わせて工夫した活動をされていました。自粛期間中でも前向きに活動続ける姿に、こちらにもパワーをもらいました。

来年度からは、登録・認証制度がスタートします。課題をクリアできるように、引き続きサポートしていきたいと思っております。